

令和5年度 信学会長野幼稚園「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

よく遊びふれあい学ぶ主体的でたくましい子

「友だちいっぱい 笑顔いっぱい わくわく TRY」

(自然と触れ合う子ども 考えて表現する子ども 多様な人とつながる子ども)

2. 本年度の重点目標

- ・主体的に行動できる子どもの育成 — 感じ、考え、判断し、行動する子
遊びや体験、生活を通して主体性を育む つながりを育む 丈夫な心と体を育む 裸足教育の推進
- ・基本的生活習慣 体を使って遊ぶ。挨拶ができる。整頓ができる。

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・保護者の意見要望に1つ1つ丁寧に返答されていて、園の誠意が伝わってきた。
- ・子どもたちが安心して登園できていることが伺われる。先生方の丁寧な対応と温かい保育による人的環境や園内への監視カメラ設置、トランシーバーの導入、レーザーキッズの活用など物的環境の成果であると考えられる。
- ・子どもが主体的に活動できるように、先生方が熱心に研修してより良い教育を目指し努力している。
- ・イメージングクラスの良さを調査し広めたり、グラウンドの芝生化等、何か特色を出せたりすると良いのではないかと。

1. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・主体的な学びに向けて非認知能力の育成を大事にして、環境設定や職員研修に取り組んできている。これからも、子どもたちの主体的な学びになるようにしていく。
- ・本年度より週案をマップ形式にすることで、子どもの意識を把握し活動を構想できるようになってきている。今後も職員が子どもを捉える力をつけられるように研修をしていく。
- ・子どもたちが安心して登園できるように、人的・物的環境を整えてきているが、更に危機管理意識を向上させていく。